

2008 年度

科目名 看護学	対象学科・学年 薬学部薬学2 回生	担当者 中田 智子
授業テーマ 健康のさまざまなレベル（健康時、障害・疾病時、終末時など）に応じた看護方法を理解し、看護についての理解を深める		
授業の概要と目標 私たちは誕生から死に至る一生において、様々な病気や異常、心身の不調を感じ、医療・看護を必要とする状況になります。疾病時、病院における医師を助ける看護の役割は比較的知られていますが、健康時の看護についてはあまり知られていません。疾病予防・健康増進における看護にも注目し、日常生活に欠かせない行為としての看護の機能と役割・看護の概念、意義と健康レベル別の看護、看護倫理、関連職種との連携等看護の基本的な領域について学んでいただきます。		
評価方法 レポートおよび筆記試験		
テキスト 看護学概論	著者 松木光子編集	出版社 H I ROKAWA
参考書 看護学概論	著者 著者代表：藤崎郁	出版社 医学書院
授業スケジュール・内容 1. 看護とは／看護の語源、看護のイメージ 2. 看護の定義と看護理論／看護の概念、看護モデル、 3. 看護の対象理解／個人・家族・地域、成長発達、防御機制、コーピング 4. 看護と健康／健康概念の変遷 5. 保健医療システム／健康づくりとヘルスプロモーション、保健医療チーム 6. 看護サービス提供の場と活動／施設・学校・産業他 7. 看護の機能と業務／看護の機能、業務、上級看護実践者 8. 看護関連法と関連職種との連携 9. 介護保険制度 10. 健康レベル別の対応1）地域看護 11. 健康レベル別の対応2）災害看護 12. 健康レベル別の対応3）施設内看護 13. 看護職者の倫理 14. 患者の権利 15. まとめ、テスト 留意点 出席点は評価に加算されませんが授業中の私語は減点の対象になります。 教科書中心にすすめますので、受講者は必ず購入してください。		